

伐採樹木をこども遊具に



国産広葉樹を活用

神戸市では、2023年3月末に閉園した約100haのゴルフ場を産業団地として造成するため、樹木の伐採を始めています。伐採される樹木の多くは、コナラをはじめとする広葉樹です。国産広葉樹は流通サイクルが確立されておらず、利活用が進んでいません。今回は、それらの有効活用のため、こどものための遊具を製作し、市内の「こどもっとひろば（児童館）」等に設置・配布することにしました。



▲遊具の制作風景



設置する大型遊具のイメージ
[参考イメージ：(株)ジャクエツ]



森林の維持と木育

神戸市域の40%は森林区域です。土砂災害防止や生物多様性保全など、人々の暮らしに大きな恵みをもたらす森林を維持するためには、森林を育てるとともに適切に伐採し、若返らせることが必要です。そして、伐採した木材の活用までを含んだサイクルの構築も重要です。今回、産業団地の造成で発生する**伐採樹木**で**こども遊具**を製作することで、

- 資源を無駄なく
- 品質に応じた最適な利活用を行い（カスケード利用）
- 造成で発生する廃棄物を減らします。また、製作したこども遊具を使って遊ぶことで、子供たちに木のぬくもりや自然の大切さを感じて欲しいと思っています。

今回のプロジェクトのポイント

① 子育て支援

- 伐採木を用いたこども遊具での木育
- 児童館等の設備充実による子育て世帯の交流支援

② 木材の有効活用

- 木材活用のリーディングケース
- 「こうべ森と木のプラットフォーム」※との連携

③ CO2排出量削減

- 丸太160本分を遊具にすることで二酸化炭素約26t分の炭素を遊具として固定(25mプール26杯分に相当)



※こうべ森と木のプラットフォームとは

森や木に関する課題解決や新しい社会の創出に向けて、地域の森林に関わる・関わりたいと思う方が出会い、意見交換を行う場です。

森林所有者、整備に関わる方、木材を活用したいと思う方、行政など様々な立場の方にご参加(参画)いただけます。

神戸市ではご寄附を通じた、地方創生やSDGs達成に向けたパートナー企業様を募集しています。

神戸市は「SDGs貢献都市 神戸」として、現在活用できていない資源を有効活用し、持続可能な社会の構築に向けた取り組みを進めています。

今回の事業は**木材活用のリーディングケース**としたいと考えています。

ご寄附いただいた企業の皆様には、当市ウェブサイトでのご紹介だけでなく、製作したこども遊具に企業名を記すことも考えています。

ぜひお力添えをいただけますと幸いです。

寄附額	寄附のお礼
10万円～	市HPに社名掲載、PR映像へのクレジット表記
30万円～	上記に加え、こども遊具に社名掲載
100万円以上	上記に加え、感謝状の贈呈

